

わが家地域の防災力を高めよう

～自分の身は自分で守る～

『避難勧告』と『避難指示』

どんな時に出るの？

いづれも『災害対策基本法』に基づいて発令されます。それぞれの情報の意味を理解して、適切な避難行動をとりましょう。

『避難勧告』ひなんかんこく

最寄りの指定された避難所へ速やかに避難しましょう。

『避難指示』ひなんしじ

最寄りの指定された避難所に直ちに避難をします。

※『避難命令』という制度はありません。

避難の心得 ひなんのこころえ

- ① 避難勧告があった時には、速やかにその指示に従いましょう。
- ② 隣近所の人たちに声を掛け合って集団で避難しましょう。
- ③ なるべく徒歩で避難し、自動車は使わないようにしましょう。
- ④ 避難前にはガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを切りましょう。
- ⑤ 災害状況をよく聞き、慌てず落ち着いて行動しましょう。

注意報と警報 ちゅういほうとけいほう

注意報とは、災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。

警報とは、重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報です。

家族みんなで話し合い

家族の3日分が準備の目安

救援活動が受けられるまでの間、家族構成を考えて最低3日分の食料と水を備蓄しておきましょう。

わが家の安全をチェック

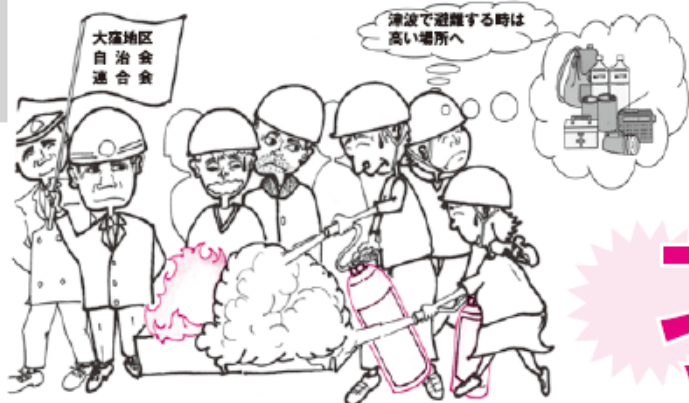
家の中をチェックし、家具の転倒等危険な箇所があれば安全対策を行いましょう。

みんなで確認！

家族がバラバラになったときの連絡方法や集合場所を決めておきましょう。

防災訓練に参加しよう

災害時には普段からの心構えとシュミレーションが大切です。地域の人たちと顔なじみになり、日頃から交流を深めましょう。毎年10月下旬の日曜日に大窪小学校で開催しています。



防災メールに登録しよう

『おだわらメールマガジン』の防災メールに登録すると、災害時や行方不明者などが出たときに放送する『防災行政無線』の内容をメールで読むことができます。

アクセスはこちら↓

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/mmz/>

非常時持ち出し品 (参考)

【貴重品】

印鑑・預金通帳・保険証・免許証・現金…等

【衣類】

下着類・セーター・ジャンパー・タオル・軍手…等

【非常食品】

缶詰・乾パン・ビスケット・チョコレート・ミネラルウォーター・氷砂糖・キャラメル・かつお節・こんぶ…等
(火を通さなくても食べられるもの)

【道具】

缶切り・栓抜き・ナイフ・はさみ・割り箸・使い捨て食器・ロープ・ビニール袋・メモとペン…等

【救急用品】

消毒液・傷薬・解熱剤・絆創膏・包帯・ティッシュペーパー・常備薬…等

【照明用具】

懐中電灯 (一人1個)・電池・ろうそく・ライター…等

【ラジオ】

予備電池

【被災後の生活物資】

- ◎ 食料品 (米・レトルトパック食品・カップ麺・調味料・菓子類…等)
- ◎ 水 (飲料水は一人1日3リットルが目安・生活用水は浴槽等に貯水しておく)
- ◎ 燃料 (卓上ボンベ・予備のガスボンベ・固形燃料…等)

※上記を参考に、各家庭でリストを作成しましょう。季節ごとの点検が大事。

【備えのポイント】

- ① 非常時持ち出し品の重量は男性で15Kg、女性で10Kgが目安。
- ② 荷物は最小限にて、両手が使えるように。
- ③ 幼児やお年寄りがいる場合は、常用している物を忘れずに。
- ④ 備蓄品の保管場所は、庭やベランダにまとめておく。
- ⑤ 笛 (ホイッスル等) も常備しておく。(大声が出ない場合助けを求めると吹く)

一人の力はみんなの力
つなげ！ 大窪の絆